

# 市立幼稚園の今後の方針について

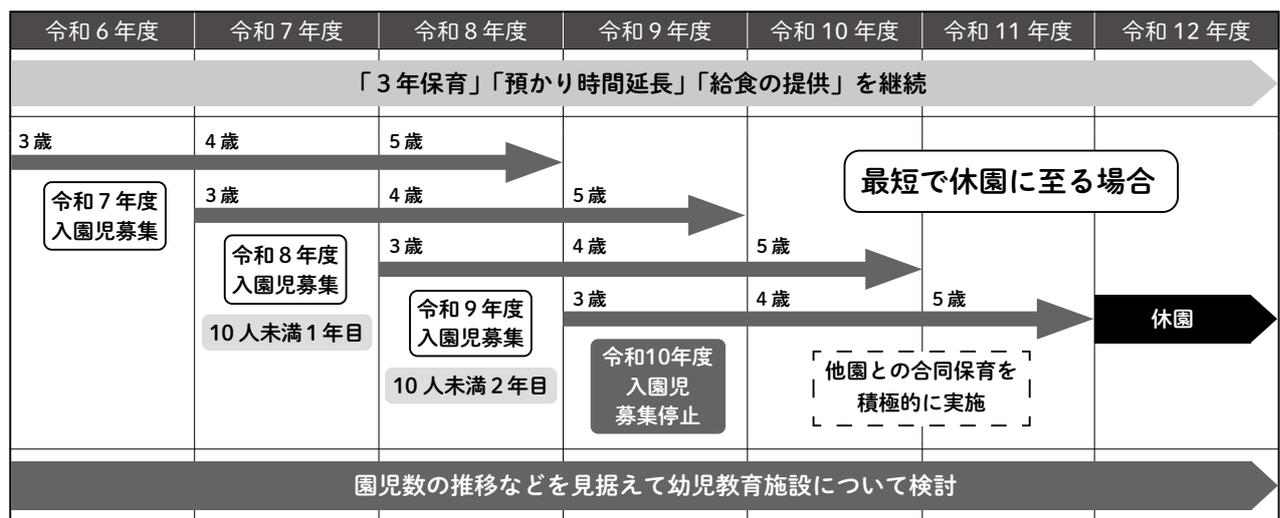
富田林市立幼稚園の今後の方針(素案)につきまして、令和6年9月に保護者向け説明会を実施するとともに、10月1日からおおむね1カ月間パブリックコメントを募集し、このたび今後の方針を策定しました。

園教育指導室(内線369)

## ■ 今後の方針

- ①先行して実施している「3年保育」「預かり時間延長」「給食の提供」は継続します。
- ②園児数が減少する中で適正規模の集団教育・保育を行うため、2年続けて3歳の新入園児が10人未満となった場合に、翌年以降の園児募集を停止します。  
※在園児については卒園まで同じ園に通うことができます。また、他園との合同保育を積極的に実施します。
- ③子どもたちの最善の利益という観点で、公による幼児教育は必要であることから、将来にわたって幼児教育を受けることができる環境を確保します。  
※新たな施設の整備や既存公共施設の活用などさまざまな可能性について、園児数の推移などを見据えて検討を進めます。

## ■ 方針の進め方(最短で休園に至る場合)



## ■ パブリックコメントの結果

募集期間 令和6年10月1日~11月5日  
 コメントの状況 提出数103通、コメント数155件  
 コメントにより修正した箇所 なし



詳しくはこちら

主なコメントの要旨	市の考え方
教育内容を充実させて幼稚園を存続したかどうか	平成29年2月に幼保あり方検討委員会から「幼稚園の統合により生まれる人材を活用し、早期に3年保育を実施する…」との提言をいただきましたが、タウンミーティングなどで寄せられたご意見をもとに、保護者の皆さまからニーズの高い「3年保育」「預かり時間延長」「給食の提供」などに先行して取り組み、教育内容の充実を図ってまいりました。一方で、集団の確保ができていないという課題や10園が稼働していることによる財政面での課題が解決には至っておらず、市立幼稚園の総量を減少する必要があると考えています。引き続き、さまざまな角度から今後の幼稚園のニーズを見極めながら検討してまいります。
公立の認定こども園を設置してはどうか	市立の認定こども園の設置につきましては、昨年3月に策定しました幼保あり方基本方針に記載しておりますように、幼児教育・保育の両方のニーズにお応えできますことから、その必要性も認識しているところです。引き続き、さまざまな角度から今後の幼稚園・保育所のニーズを見極めながら検討してまいります。
現在は園児数が少なく子どもたちに集団による保育が提供できていない	集団による幼児教育・保育の保障に努めてまいります。